

令和4年度（2022年度）公共事業再評価調書

（様式3）

		基準年月日		令和4年8月1日								
調書番号	08-03	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局道路課長 泉 智夫							
				担当係	道路計画係（内）29-218							
I 基本事項（基準日時点）												
事業種別	道路改築事業費（社会資本整備総合交付金）											
地区名	奥尻島線	市町村名	奥尻町	総事業費	11,000 百万円							
負担割合	国	道	市町村	その他								
	60.0%	40.0%	—	—								
		6,600 百万円	4,400 百万円	— 百万円	— 百万円							
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●異常気象に伴う越波・落石・崩土などの「災害要因」を回避し、「事前通行規制」の解消を図り、道路利用者の安全な交通の確保を図る。 ●幅員が狭小で急カーブが連続する区間について、新たに山側に道路を整備することで、日常生活や観光などでの道路利用者の安全かつ円滑な通行の確保を図る。 【アウトカム】等 <ul style="list-style-type: none"> ●「事前通行規制区間」の解消及び耐災害性の向上 ●日常生活の利便性向上 ●救急搬送時の安全性、確実性の向上 ●物流及び観光施設等へのアクセス向上 											
事業概要	奥尻島線は、島内を一周する幹線道路で、全線が緊急輸送道路に指定されている重要な路線である。このうち本区間は、奥尻地区と青苗地区を結ぶ重要な区間であるが、落石や越波が起因する通行止めが多く発生していることや、幅員が狭小で急カーブが連続しており、大型車のすれ違いが困難なことなど交通安全上の支障となっていることから、新たな道路の整備を実施する。	工事費内訳	【現況】延長L=6.48km、幅員W=4.0m	(百万円)	(百万円)	(百万円)						
			【計画】延長L=6.48km、幅員W=5.5m+2@1.25m	前回評価	今回評価	増減額						
			道路工 L=6.48km 橋梁工N=6橋	6,960	9,073	2,113						
			測量設計費 1式	1,285	1,810	525						
			用地補償費 1式	155	117	△ 38						
計				8,400	11,000	2,600						
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名							
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）							
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P44】 （道路施設の防災対策等） 道路防災総点検の結果を踏まえ、落石や岩石崩落など要対策箇所への対策工事について路線の重要性を勘案するとともに、現地状況等の変化により新たな対策が必要な箇所等の把握に努めるなど、計画的な整備を推進する。										
	関連する指標	道路防災総点検における道路斜面等の要対策箇所の対策率（道道） 15%（2018）→80%（2027）										
II 公共事業評価経過 （単位：百万円）												
事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)	
	事前評価又は当初	H16(2004)	H16(2004)	H25(2013)			18	6,600	2,640			
	前回再評価	H16(2004)	H16(2004)	H29(2017)			H35(2023)	8,400	3,360	230	4,780	57%
	今回評価			R4(2022)			R9(2027)	11,000	4,400	10	8,326	76%
変更理由・内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ●全体事業費 ●環境保全対策による橋梁工の増額 ●道路橋示方書改定による増額 ●資材・労務単価の上昇、消費税の変更に伴う増額 ●環境保全対策のための調査の追加・調査期間の延伸に伴う増額 ●事業期間 ●環境保全対策の検討・設計に伴い事業期間を延伸 											
III 事業採択前の状況												
1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ● H8年 道路防災総点検により（落石・崩壊）（岩石崩壊）26箇所がランクⅠ判定 ● H15年9月、H16年2月 越波による通行止め（合計15時間） ● H16年9月 台風第18号により当該区間が9箇所被災、道路通行が不能（10日間、復旧費4.6億円） ＜参考＞ H18年 道路防災総点検により（落石・崩壊）（岩石崩壊）19箇所がランクⅠ判定 											
2. 事業検討の手續（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ● H5年7月 北海道南西沖地震発生、被災の影響もあり、地域住民から道路改良の要望 ● H14年8月 奥尻町道路整備促進検討委員会を開催 ● H14年11月 地元住民への説明会を開催 ● H19年11月 地元市町村で構成される「道道奥尻島線整備促進期成会」を設立、整備要望書が提出される※以降、毎年、要望書が提出される。 											
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常気象時通行規制区間の解消による交通機能、ライフラインの確保（雨量140mm/連続） ● 道路線形の改良、幅員確保による交通の安全性向上 ● 緊急医療施設（奥尻国民健康保険病院、奥尻空港を利用した緊急ヘリ）間の移動時間を短縮し緊急医療を支援 ● 奥尻空港やフェリーターミナルへのアクセス性の向上 ● 奥尻地区と青苗地区の移動時間が短縮、幅員が確保されることにより、路線バス・観光バスの利便性の向上 ● 奥尻島の主要産業である水産業への支援（水産加工品の流通などの効率化） 											

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画															
	施工(工種)区分	工事内容	H16	~	H26	H27	~	R2	R3	R4	R5	~	R9	進捗状況	事業費(百万円)	
	道路工	L=6.48km	<				L=5.00km					X	-----L=1.48km-->		88%	4,393
	橋梁工	道路橋N=6橋			<			N=4橋				X	-----N=2橋-->		54%	4,680
	測量設計費	環境調査・地質調査			<							X	-----環境調査-->		87%	1,810
用地費及補償費	用地買収・物件補償			<										100%	117	

(2) 進捗状況

自然環境保全対策を実施するために時間を要していたが、事前調査(地下水位、大気質調査等)の実施および施工に詳しい専門員の指導を受けて施工を進めることで合意を得たことから、今後は概ね計画どおりに進捗が図られる見込み。

b

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R4現在	項目	R4現在	
	合計(B)	0	合計(C)	0	●危険箇所の解消を目的とした事業であり、「費用便益分析マニュアル」(国土交通省道路局、都市局)にて算出する事業に該当しない。

現況路線の防災対策を実施するより、計画路線で改築する方が安価で今後の維持管理も容易となる。

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	構造スリム化	高強度鉄筋の採用により橋脚がスリム化され、コスト縮減に繋がるとともにブナ林の風通しもよくなった	10

V 評価

1. 必要性	評価	
	●現道は、落石崩壊、岩盤崩落などの危険性が高く、越波を加えて交通障害が度々発生し、異常気象時に通行止めとなる事前通行規制区間となっている。	●現道は、幅員が狭く急カーブが連続しており、大型車のすれ違いが困難なことなど交通安全上の大きな問題となっている。(平成12年度以降で4件の死傷事故が発生)

a

a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。
b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。
c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題	
	●環境に配慮した取組み: 奥尻島内の自然環境を保護するため、環境調査と植物専門家・動物専門家の意見を聴取し事業を実施(植物においては、植生工事実施箇所について、毎年現地視察をおこない、意見を聴取している)	●動植物の生息・生育に配慮した路線計画: 当事業区間においては植物(自然度8のブナ群落)動物(オオワシ、オジロワシの越冬環境)地形(急傾斜施設、地すべり地形箇所)に対する影響を回避するコントロールポイントを設定し、可能な限り自然環境を保全していく計画とし道路線形を選定している。
	●在来種による法面緑化: 奥尻島内の在来種を利用した法面の緑化を目指し、盛土法面にはすき取り土法覆工法、切土法面には草本類をチップ化したものを土と混ぜ合わせ法面に吹き付ける廃棄物還元型植生基材吹付工法を採用している。	
3. 事業達成の見込み	(2) 事業推進に対する住民の動向	
	●毎年、地元から整備要望を受けており、工事の完成に対して大きな期待が寄せられている。	●R3年11月、地元住民に道路整備に対するアンケートを実施し、回答の9割は、早期道路整備を期待している。
	(3) その他の課題	
● 特になし	※前回の再評価以降における状況変化はない。	

a

a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。
b: 課題はあるものの達成は可能である。
c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元住民・期成会・自治体からの早期完成要望が強いことから、事業を継続する。					
	a	a: 継続	b: 終了	c: 休止	d: 中止	
	事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価： 再評価：平成25（2013）年度評価 評価結果：継続（変更なし） 再評価：平成29（2017）年度評価 評価結果：継続（変更なし）
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

VII 事業計画変更

（単位：百万円）

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度 事業費	累計事業 費(b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H16 (2004)	H16 (2004)			H25 (2013)	18	6,600			
変更①	1回目	H16 (2004)	H16 (2004)	H25 (2013)	H25 (2013)	H30 (2018)		7,000			
変更②	2回目			H29 (2017)	H29 (2017)	H35 (2023)		8,400			
変更③	3回目			R4 (2022)	R4 (2022)	R9 (2027)		11,000	10	8,326	76%
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容								<p>変更①：事業期間・総事業費の変更 ・地権者との用地交渉に時間を要したため、事業期間を延伸。（H24用地取得が困難であるため一部ルートを修正） ・法面对策工の増工などにより事業費を増額。</p> <p>変更②：事業期間・総事業費の変更 ・用地交渉が決裂した用地を回避するルート上にある貴重なブナ林について、学識経験者の助言や環境に配慮したルート選択及び橋梁の延長に伴う工程の見直しにより、事業費の増額及び事業期間を延伸。</p> <p>変更③：事業期間・総事業費の変更 ・環境保全対策による橋梁工の増額 ・道路橋示方書改定による増額 ・資材・労務単価の上昇、消費税の変更に伴う増額 ・環境保全対策のための調査の追加・調査期間の延伸に伴う増額 ・環境保全対策の検討・設計に伴い事業期間を延伸</p>			

事業概要図

事業名	道路改築事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	奥尻島線
-----	--------------------------	-----	------

事業地区位置図

